

平成23年2月18日 開会・閉会

平成23年2月

富山地区広域圏事務組合議会定例会

会 議 録

富山地区広域圏事務組合議会

本定例会に付議された議案件名

- 議案第1号 平成23年度富山地区広域圏事務組合一般会計予算
- 議案第2号 平成23年度富山地区広域圏事務組合清掃事業特別会計予算
- 議案第3号 平成23年度富山地区広域圏事務組合廃棄物発電事業特別会計予算
- 議案第4号 平成22年度富山地区広域圏事務組合清掃事業特別会計補正予算（第1号）
- 議案第5号 富山地区広域圏事務組合常願寺ハイツスポーツ公園の指定管理者の指定の件
- 議案第6号 富山県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の増加及び規約の変更の件

平成23年2月富山地区広域圏事務組合議会定例会

会 議 録 目 次

全	号（2月18日）	
議 事 日 程	1
本日の会議に付した事件	1
出・欠席議員の氏名	2
説明のため出席した者	3
職務のため議場に出席した職員	3
開	会	4
開	議	4
会議録署名議員の指名	4
会期の決定	5
提案理由の説明	5
議案の質疑・討論・採決	9
理事長あいさつ	10
閉	会	11

議 事 日 程

平成23年2月18日(金)
午後4時25分 開議

- 第1 会議録署名議員の指名
 - 第2 会期決定の件
 - 第3 議案第1号、議案第2号、議案第3号、
議案第4号、議案第5号、議案第6号
-

本日の会議に付した事件

- 日程第1 会議録署名議員の指名
- 日程第2 会期決定の件
- 日程第3 議案第1号、議案第2号、議案第3号、
議案第4号、議案第5号、議案第6号

出席議員（16人）

1	番	田	畑	裕	明
2	番	佐	藤	康	弘
3	番	佐	藤	則	寿
4	番	岡	村	耕	造
5	番	金	厚	有	豊
6	番	浅	生	幸	子
7	番	中	川		勲
8	番	窪	田	一	誠
9	番	田	中	義	明
10	番	村	上	和	久
11	番	竹	島	ユリ	子
13	番	針	山	常	喜
14	番	丹	波		茂
15	番	砂	子 阪	和	夫
16	番	砂	原		孝
17	番	五	本	幸	正

欠席議員（1人）

12	番	平	井	妙	子
----	---	---	---	---	---

説明のため出席した者

理事	理事	理事	森		雅	志
副理			舟	橋	貴	之
			上	田	昌	孝
	//		伊	東	尚	志
	//		金	森	勝	雄
事務局		局長	田	中	達	郎
会計	管理	者	塩	原	喜	和
事務	局	参	岩	木	一	則
事務	局	次	中	田	貴	保
クリーンセンター		所長	杉	原	賢	治
リサイクルセンター		所長	田	畑	哲	夫

職務のため議場に参加した職員

クリーンセンター所長代理	平	林	富	光
クリーンセンター主幹	深	川	幸	盛
事務局係長	岡	本	由	紀恵

◇ ◇ ◇
—— 開 会 ——
午後4時25分 開会

○議長（五本幸正 君）

ただいまから、平成23年2月 富山地区広域圏事務組合議会定例会を開会いたします。

◇ ◇ ◇
—— 開 議 ——
午後4時25分 開議

○議長（五本幸正 君）

本日の会議を開きます。

議事日程は、お手元に配布のとおりであります。

日程に入ります前に、本日の欠席議員について、ご報告いたします。

上市町選出の 平井 妙子議員より、都合により欠席との届出がありましたので、ご報告いたします。

◇ ◇ ◇
—— 会議録署名議員の指名 ——

○議長（五本幸正 君）

これより、日程第1 会議録署名議員の指名を行います。

会議規則、第96条の規定により、会期中の会議録署名議員に7番 中川 勲君、8番 窪田 一誠君、14番 丹波 茂君を指名いたします。

◇ ◇ ◇
—— 会 期 の 決 定 ——

○議長（五本幸正 君）

次に、日程第2 会期決定の件を議題といたします。
おはかりします。
本定例会の会期は、本日1日間といたしたいと思います。
これにご異議ありませんか。

（「異議なし」と叫ぶ者あり）

○議長（五本幸正 君）

ご異議なしと認めます。
よって、会期は、本日1日間と決定いたしました。

◇ ◇ ◇
—— 提 案 理 由 の 説 明 ——

○議長（五本幸正 君）

次に、日程第3 議案第1号から議案第6号を一括議題といたします。
理事長から提案理由の説明を求めます。

（理事長 森 雅志君 登壇）

○理事長（森 雅志 君）

平成23年2月富山地区広域圏事務組合議会定例会の開会にあたり、
提出しました案件の概要につきましてご説明申し上げます。

今日、人口の減少と少子高齢化の同時進行や資源制約、気候変動をはじめとする環境問題など、社会・経済構造の激しい変化に直面しております。

景気も一部に持ち直しに向けた動きがあるものの、足踏み状態にあり、
失業率も高水準にあるなど、地方自治体を取り巻く行財政状況は依然として
厳しい状況にあります。

一方、地域で暮らす住民の身近な行政においては、地方自治体がその実情に応じた自主的かつ総合的に広く諸課題に対応できるよう、国と地方で地域主権改革が進められております。

また、地球温暖化をはじめとする環境問題は、人々の日々の活動が大きく関係しており、その影響は、私たちだけでなく、未来の子供たちまで及ぶこととなります。

安心して暮らせる地球環境を将来に引き継いでいくため、これまで以上に、住民、事業者、行政が、連携・協力し、環境に対する負担をできるだけ小さくする循環型社会の形成に向けた取り組みを行う必要があります。

このため、富山地区広域圏では、効率的で健全な組合運営を図るため、徹底した事務事業の見直しにより経費節減に努めるとともに、構成市町村と連携を図りながら、一層の廃棄物の減容化・再資源化などに取り組んでまいり所存であります。

皆様方のさらなるご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。
次に、ごみの減量化やリサイクルの状況について申し上げます。

国において、廃棄物の発生抑制、再使用、再資源化の促進を図る「循環型社会形成推進基本法」の制定以来、資源生産性、及び再生利用率は向上する一方、最終処分量も減量しており、循環型社会に向けた取り組みは着実に進んでおります。

こうした取り組みが、より一層定着していくためには、住民一人ひとりが、その意義を理解し、それぞれの立場で参加し、行動していくことが求められております。

構成市町村においては、「空きびん・空き缶、ペットボトル」の分別回収や、「レジ袋の削減」などについて努力されているところであり、引き続き、ごみの分別、減量化に格段のご配慮とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

当広域圏といたしましても、構成市町村と十分連携をとりながら、循環型の地域づくりを目指して、廃棄物の減量化・再資源化に積極的に取り組んでまいり所存であります。

次に、広域行政圏施策の動向について申し上げます。

人口減少、少子高齢化の進行、市町村合併の進展に伴い、広域行政圏を取り巻く状況が大きく変化してきており、国のこれまでの広域行政圏施策は当初の役割を終えたとして廃止されたことから、平成22年度末をもって計画期間が満了となる「富山地区広域市町村圏計画」については、現計画をもって廃止したいと考えております。

今後の広域的な連携については、地域の実情に応じて関係市町村の自主的な協議により推進されるものであり、富山地区広域圏内において共同処理しておりますごみ処理事業等は引き続き実施してまいりたいと考えております。

次に、クリーンセンターについて申し上げます。

可燃ごみの焼却処理については、ダイオキシンなどの環境汚染物質の発生を抑制し、焼却灰の無害化・減容化を図るなど、安全面と衛生面に万全の配慮をした施設運営に努めるとともに、焼却熱を利用した発電等により、循環型社会の形成に寄与しながら経費の節減にも努めております。

クリーンセンターは稼働以来9年目に入り、施設や設備の経年化が進んできておりますが、ごみ排出量の動向等を考慮しながら、効率的な更新整備や保全管理に努め、安定的で安全な運転管理を行ってまいりたいと考えております。

また、溶融スラグについては、構成市町村の協力を得ながら道路の舗装材などへの有効利用を図っておりますが、今後もこの取り組みを継続し、埋立処分量の削減に努めてまいりたいと考えております。

次に、リサイクルセンターについて申し上げます。

リサイクルセンターは、平成17年3月の新施設の竣工からほぼ6年が経過しましたが、その間、大きなトラブルもなく順調に稼働しているところであります。

また、併設するリサイクルプラザでは、不要となった自転車や家具などのリサイクルを通じて、再利用の促進、並びに廃棄物の抑制に努めております。

今後、リサイクルセンターについても、経年による施設や設備の修繕等が見込まれますが、計画的で適切な維持管理を行い、効率的で安全な施設運営に努めてまいりたいと考えております。

次に、常願寺ハイツスポーツ公園について申し上げます。

当公園の中核施設である「常願寺ハイツ」は、クリーンセンターの余熱を利用した温水プールを拠点に、トレーニングジム、スタジオ及びテニスコート等を設置し、また管理運営は指定管理者が行うことにより、専門スタッフが充実し、利用者ニーズに対応した各種スポーツ・健康教室も開催されるなど、住民のスポーツ振興と健康増進に寄与してまいりました。

本年度をもって指定管理期間を満了することとなりますが、当事務組合では利用者数・会員数とも年々増加するなど、指定管理者制度導入の効果が大きいに発揮されたものと評価しており、今後も、指定管理者による管理運営を行ってまいりたいと考えております。

次に最終処分場について申し上げます。

当広域圏の新たな最終処分場の建設については、昨年10月の理事会における協議や議会のご意見等を踏まえ、建設は行わず、民間の最終処分場に埋立処分を委託する方針を決定したところであります。

今後、安全面や技術面、費用面などについて適正な一般廃棄物の処分等が行えるよう、民間委託の基本方針を策定し、諸条件を検討した上で実施していくこととしております。

次に、提出しました案件について、その概要をご説明申し上げます。

平成23年度の会計別予算規模は、

一般会計	8千576万円
(対前年度 当初予算比)	0.7パーセント減)
清掃事業特別会計	45億9千816万余円
(対前年度 当初予算比)	3.9パーセント増)
廃棄物発電事業特別会計	4億9千488万余円
(対前年度 当初予算比)	1.5パーセント減)
総額	51億7千880万余円
(対前年度 当初予算比)	3.3パーセント増)

を計上しており、借換債の発行等を予定していることから、前年度に比べ予算が大幅に増加しておりますが、借換債等の特別な要因を除いた実質的な予算について、歳入の確保と経費の節減を図り、構成市町村の負担の軽減に配意したところであります。

まず、一般会計では、議会費として146万余円、事務局費として3千430万余円、衛生費として3千486万余円、常願寺ハイツスポーツ公園の維持管理費として1千412万余円を計上しております。

これらに要する財源としては、構成市町村の負担金、県支出金、繰越金等を充てております。

次に、清掃事業特別会計では、ごみ処理事業費については、ごみ処理施設の維持管理費、ごみ焼却炉や灰溶融炉の運転業務に要する経費など、13億7千653万余円を計上しております。

ごみ処理施設建設事業費については、一般廃棄物処理施設整備基金にかかる経費など、543万余円を計上しております。

リサイクル事業費については、リサイクルセンター施設の維持管理やリサイクル活動推進費、容器包装廃棄物の中間処理に要する経費など、7億515万余円を計上しております。

また、公債費として、新ごみ処理施設整備に係る組合債の元利償還金、25億603万余円を計上しております。

これらの財源としては、構成市町村の負担金、ごみ処理手数料、資源物の売り払い収入、繰越金等を充てております。

次に、廃棄物発電事業特別会計では、廃棄物発電事業費として、廃棄物発電に係る施設の維持管理に要する経費2億2千380万余円を、また、公債費として、廃棄物発電施設整備に係る組合債の元利償還金2億7千107万余円を計上しております。

これらの財源としては、構成市町村の負担金、電気の売払い収入を充てております。

次に、平成22年度清掃事業特別会計予算の補正についてご説明申し上げます。

清掃事業特別会計のリサイクル事業費において、アルミ缶やスチール缶のプレス品の売払い価格の上昇、並びに、ペットボトルの有償引渡し価格の上昇等に伴い、構成市町村に支払うリサイクル報償金が当初見込みを上回ったことから、増額補正を行うものであります。

次に、予算以外の案件について、ご説明申し上げます。

その他の案件につきましては、「富山地区広域圏事務組合常願寺ハイツスポーツ公園の指定管理者の指定の件」など2件であります。

以上が、今回提出しました案件の概要であります。

なにとぞ、慎重審議のうえ、適正な議決をいただきますようお願い申し上げます。

◇ ◇ ◇
——— 議案の質疑・討論・採決 ———

○議長（五本幸正 君）

これより、

議案第1号 平成23年度 富山地区広域圏事務組合 一般会計予算

議案第2号 平成23年度 富山地区広域圏事務組合 清掃事業特別会計予算

議案第3号 平成23年度 富山地区広域圏事務組合 廃棄物発電事業特別会計予算

議案第4号 平成23年度 富山地区広域圏事務組合 清掃事業特別会計補正予算（第1号）

議案第5号 富山地区広域圏事務組合 常願寺ハイツスポーツ公園の指定管理者の指定の件

議案第6号 富山県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の増加及び規約の変更の件

以上6件を一括して、質疑に入ります。

質疑はありませんか。 質疑なしと認めます。

○議長（五本幸正 君）

これより、議案第1号から議案第6号まで、以上6件を一括して討論に入ります。

討論はありませんか。 討論なしと認めます。

○議長（五本幸正 君）

これより、議案第1号から議案第6号、以上6件を一括して採決いたします。

各案件は、原案のとおり決することに、ご異議ありませんか。

（「異議なし」と叫ぶ者あり）

○議長（五本幸正 君）

ご異議なしと認めます。

よって、各案件は、原案可決されました。

以上で、本定例会に付議された案件は、すべて終了いたしました。

◇ ◇ ◇
—— 理 事 長 あ い さ つ ——

○理事長（森 雅志 君）

議員各位には、市町村議会開会前のたいへんお忙しい中、富山地区広域圏事務組合2月定例会にご出席を賜り、誠にありがとうございます。また、ただいま提出いたしました案件につきまして、議決をいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、時節柄、まだまだ寒暖の差が激しい日が続いてまいります。議員各位には、健康に十分ご留意されますとともに、今後とも、当広域圏発展のため、ご尽力賜りますようお願い申し上げます。閉会のあいさつといたします。

— ◇ ◇ ◇ —
閉 会

○議長（五本幸正 君）

平成23年2月 富山地区広域圏事務組合議会 定例会を閉会いたします。

午後4時40分 閉会